

朝日新聞

天声人語

〈英文対照〉

朝日新聞論説委員室編

'83 冬

VOX POPULI, VOX DEI

朝日新聞

天声人語

〈英文対照〉

朝日新聞論説委員 全編

江苏工业学院图书馆
藏书章

'83 冬

VOX POPULI, VOX DEI

原書房

天声人語 '83冬の号(第55集)

1984年2月15日 第1刷 定価 980円

著者 朝日新聞論説委員室
訳者 朝日イブニングニュース社
発行者 成瀬 恭
発行所 原書房

〒160 東京都新宿区新宿1-25-13
電話・代表03(354)0685 振替・東京5-151594

平河工業社/佐抜製本

ISBN4-562-01444-X

はじめに

天声人語は朝日新聞の創刊二十五周年にあたる一九〇四年（明治三十七年）の一月に誕生した。これまですでに四分の三世紀以上の歴史をもっている。朝日新聞の購読者の半数以上が毎日必ず読んでいる。本社の行った最近の読者調査では、朝日新聞の購読者の半数以上が毎日必ず読んでいる。

論説委員の中から一人が専任の執筆者として選ばれ、一人で毎日この欄を書く。原則としては筆者の名前を明かさないうことになっている。しかし、文章も内容も素晴らしいことかただろうが、いつの間にか自然にどこからか筆者名が知られてしまう。

これまで最も長い間天声人語を執筆したのは、一九四六年から一九六三年まで六〇〇〇回余を書きつづけた荒垣秀雄氏である。その荒垣氏が、朝日新聞の創刊一〇〇周年記念号（一九七九年一月二十五日付）に「天声人語物語」を書いた。その中で天声人語の性格を次のように説明している。

「社説が『床の間』なら天声人語は『縁側』である。『ぬれ縁』といつてもよい。床の間には近づきにくいという人も、縁側には気軽に立ち寄ってくれる。……天声人語には『見出し』がついていない。どんな記事にも社説にも大小いろいろの見出しがついているが、天声人語にはいつも変らぬ古い標札がかかっているだけで、中味を要約した見出しはない。また文章に一字の余白もなく、最後までギッチリとつまっている。途中に五つほど飛び石があるだけだ。▼の飛び石伝いに話が進んでいく（本書では便宜のため表題をつけ、▼を外してそのかわりに「行かえ」を行っている）。

天声人語は「街路樹である」とも述べている。「枝葉は風にそよいでも太い幹はガッチリと大地に根を張って」「人の往き来をじっと眺めている」「いつも目をパッチリあけて世の中を見つめている」。荒垣氏だけでなく、すべての天声人語欄担当の筆者がこの通りであらう、と思う。

執筆期間の長さで荒垣氏につき、また天声人語の声価を確固たるものにしたのは一九二四年から一九三六年までを担当した永井釈瓢斎であった。天声人語の歴史の中で彼の名前もひとときわ重い。最近の筆者としては、入江徳郎、正田桂一郎、深代惇郎がある。そして現在の筆者にひきつがれている。

天声人語の語源ははっきりしないが「天に声あり、人をして語らしむ」という中国の古
典から取ったものだといわれている。朝日イブニング・ニュース紙の表題には VOX・
POPULI, VOX DEI が使われている。ラテン語で「庶民の声は神の声」という意味であ
る。人びとの声あるいは世論が天の声なのだ、と天声人語の筆者は考えながらこの欄を執
筆している、というのが私の理解である。

一九八〇年四月

朝日新聞論説主幹

岸田純之助

はじめに

（一九八三年十月——目次）

12	不退転の決意	24
11	体外受精児誕生	22
10	有機リング	20
9	「病理的影響」	18
8	引責の規範	16
7	倫理嫌	14
6	ワレサ氏の社会主義	12
5	花登筐の世界	10
4	噴火への心構え	8
3	勇気ある証言	6
2	見つめる心	4
1	動く基地「カールビンソン」	2

	13	河野さん語録	26
	14	空飛ぶ男たち	28
	15	空約束	30
	16	緑への渴望	32
	17	マツタケ	34
	18	レパノンの悲劇	36
	19	葉鶏頭	38
	20	肩書	40
	21	カリブの真珠・グレナダ	42
	22	首相の「毛づくろい」	44
	23	楽読への道しるべ	46
	24	稲は生きもの	48
*		科学者として生きる	50
*		コスモスのころ	51
*		散策	52

* 朝日新聞掲載の天声人語のうち朝日イブニングニュースの休刊日(日曜)の関係等で英訳文の無いものを各月の対訳文のあとに和文だけで収載します。

一九八三年十一月——目次

25	愛のあかぎ大会	54
26	沖繩の自然百選	56
27	文化の垢	58
28	『永田町用語辞典』	60
29	日本シリーズ「このひとこと」	62
30	錦繡の風景	64
31	選挙向け仲良し会談	66
32	禁煙原則時代	68
33	ロン・ヤス主演テレビ劇	70
34	マラソン一路	72
35	『街の自然12か月』	74
36	こうすりゃこうなる	76
37	うつ病時代	78

	38	野坂天狗“出馬”……………	80
	39	プロパンガス事故に学ぶ……………	82
	40	「一万歩と二億字」の計……………	84
	41	政治倫理法制定を……………	86
	42	村上女性史の重み……………	88
	43	生産者・消費者のきずな……………	90
	44	なにがなにやらわからぬ解散……………	92
	45	師走を待つ宇宙……………	94
*	96	『肉体の門』から36年……………	96
*	97	冬瓜……………	97
*	98	『キャッツ』の世界……………	98

一九八三年十二月一日発行

〈一九八三年十二月——目次〉

46	日本を語る……………	100
47	辞書の歩み……………	102
48	討論なき選挙……………	104
49	逆転の年……………	106
50	落ち葉……………	108
51	玉碎思想……………	110
52	バラハス空港航空機事故……………	112
53	子供革命……………	114
54	ニュースカメラマンの目……………	116
55	原爆記録映画を海外へノ……………	118
56	コピー時代……………	120
57	置き去られた開拓民……………	122
58	軍拡かくし……………	124

59	ポロ市いま・むかし	126
60	自民党七つの敗因	128
61	けんか太郎は名医だった	130
62	冬の野鳥公園	132
63	はじめ薬	134
64	グリーンテイング・カード作戦	136
65	惜しまれる人々	138
66	「農業の滅びだ！」	140
67	政治家のための見栄講座	142
68	おしんタロジロ	144
*	政府と新聞	146
*	復元された武官俑	147
*	雪国の舌戦	148

〈 Contents — October, 1983 〉

1	The Visit by the Carl Vinson	3
2	Who Is This Tanaka ?	5
3	Valid Complaints	7
4	Being Prepared Saves Lives	9
5	Prolific Playwright Hanato	11
6	Movement With a Human Face	13
7	Arrogant Ethics	15
8	Assuming Responsibility	17
9	'Pathological Effects'	19
10	Demand for 'Natural' Apples	21
11	Happy Day in Sendai	23
12	'Indomitable Resolve'	25
13	Kono's Insights	27
14	Active Asahi Planes	29
15	Politest Form of Rejection	31
16	Involved Housewives	33
17	¥ 100 Matsutake ?	35
18	Mosaic of Sects and Hatred	37
19	The Red Tints of Autumn	39
20	Borrowed Occupational Titles	41
21	Pearl of the Caribbean	43
22	Mutual Grooming ?	45
23	Reading Habits Start Young	47
24	Better Rice Growing Needed	49

〈Contents — November, 1983〉

101	25	Use What You Have Left	55
102	26	Progress Brings Death	57
103	27	Time for a Cleansing	59
104	28	Nagatacho Dictionary	61
105	29	Lessons From the Japan Series	63
111	30	Colorful Autumn Tints	65
112	31	Ron and Yasu Meetings	67
113	32	Make 'No Smoking' the Rule	69
114	33	TV Play by Ron and Yasu	71
115	34	Marathon Runner Kanaguri	73
121	35	Nature at Our Doorsteps	75
122	36	Dioxin in Residual Ash	77
123	37	Drastic Increase in Depression	79
124	38	'Nosaka Don Quixote'	81
125	39	Disasters Aim at Pitfalls	83
126	40	10,000 Steps, 200 Mil. Words	85
127	41	Not an Honest Calling	87
128	42	Requiems to Working Women	89
129	43	Success in Organic Farming	91
130	44	What Kind of Dissolution ?	93
131	45	The Vast Universe	95

〈Contents — December, 1983〉

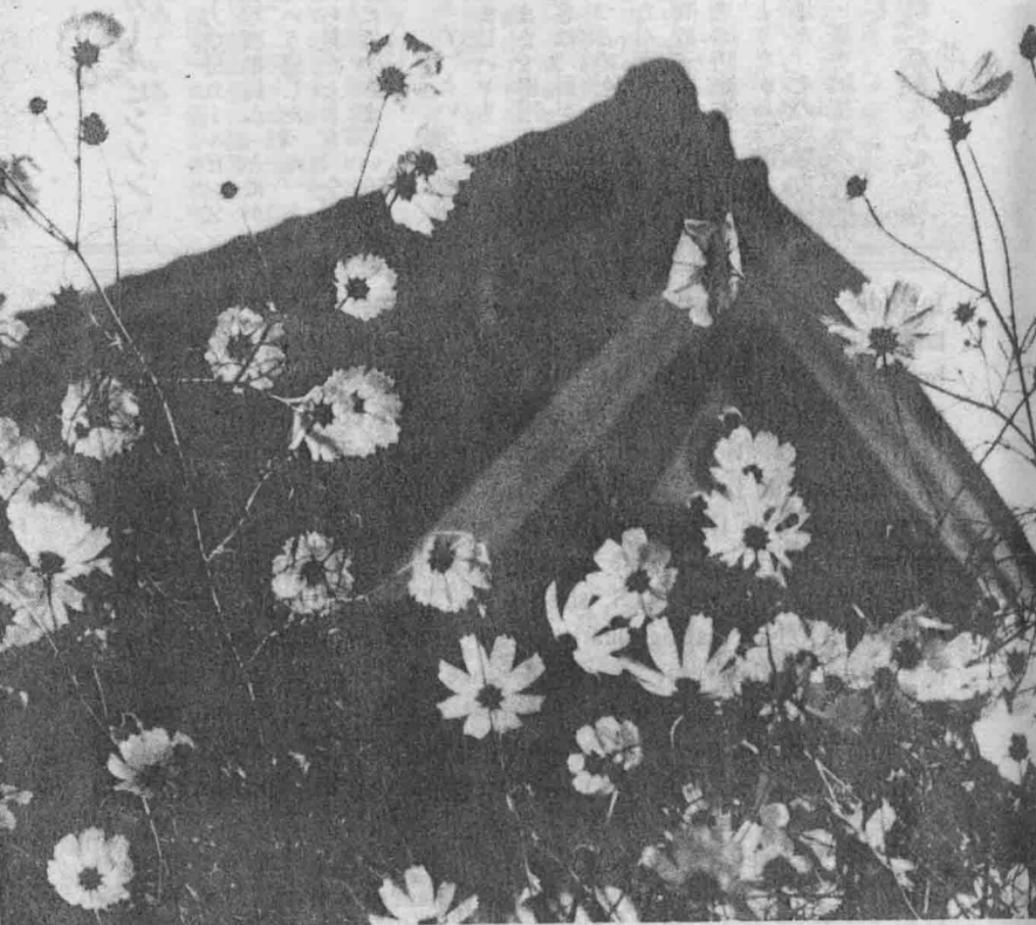
46	More Publicity Needed	101
47	Old Words, New Words	103
48	Empty First Words	105
49	Come-From-Behind Wins	107
50	Fallen Leaves	109
51	War Records and Dec. 8	111
52	Spain and Air Accidents	113
53	Save the Children	115
54	Newspaper Photographers	117
55	'The Lost Generation'	119
56	An Age of Copies	121
57	Abandoned Civilians	123
58	Obscuring Defense Issues	125
59	Setagaya Rummage Sale	127
60	LDP's Defeat: 7 Reasons	129
61	Fighting Taro Dies	131
62	Oi Wild Bird Park	133
63	'Kejime' Medicine	135
64	UNICEF Greeting Cards	137
65	Obituaries for 1983	139
66	4th Poor Rice Crop	141
67	How to Be a Big Shot	143
68	Oshin, Taro, Jiro	145

英文訳注……………卷末 2

英本文の続き……………卷末 27

写真提供／朝日新聞社

10月 October



▲コスモス